

「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果

問 教育委員会 学校教育課 ☎内線 342

今年4月、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に同調査を実施。結果をもとに松浦市の子どもたちの学力と学習状況の現状および課題についてお知らせします。

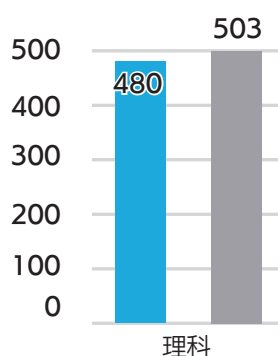
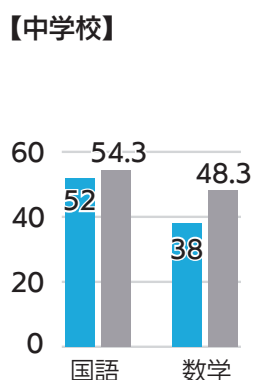
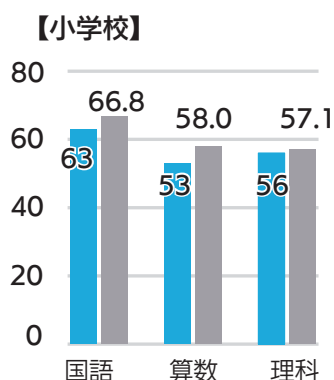
①調査内容 【学力調査】国語、算数・数学、理科 【児童生徒質問紙調査】学習・生活に関するアンケート形式

②調査目的 この調査は、対象学年だけでなく、全学年を通じた学習の成果と課題を検証し、学力の向上に向け、学習の改善・充実を図ります。

③学力調査結果（全国と本市の平均正答率） ※市の数値については、整数で公表されています。

■ 松浦市 ■ 全国 (単位%)

※中学理科は検査日や問題内容が異なるため *IRT スコアで表示



*IRT スコア…

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

＜松浦っ子の学びに向かう力を育むために ～調査結果の分析から～＞

正しい生活習慣を身に付けましょう

- ・毎日同じ時刻に起床・就寝している児童生徒は正答率が高い。



確かな学力を付けるためには、早寝・早起き・朝ごはんをはじめとした規則正しい生活習慣を身に付けることが大切です。

読書をする習慣を身に付けましょう

- ・家庭にたくさんの本がある児童生徒の学力調査の平均正答率が高い。



読書は学力だけではなく、心が落ち着くなど良好な人間関係や自己肯定感の高まりにもつながります。

図書館の利用など本に触れる機会を増やすことが大切です。

家庭学習時間を確保しましょう

- ・小学生1時間以上、中学生2時間以上家庭学習をしている児童生徒は正答率が高い。
- 一方で、中学生では2時間以上家庭学習に取り組む生徒の割合が全国平均を下回る。



学校での学びに加えて予習や復習などの家庭学習の充実を図ることが学力の定着につながります。

学校と家庭・地域の両輪で子どもに生きる力を

松浦市では、今後も子どもたちの生きる力を育むために学校を支援し、学力向上に向けて課題改善のための方策に取り組んでまいります。市民の皆さまにも、引き続き、子どもたちの健やかな成長のために、地域の子育て支援や学校での教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

